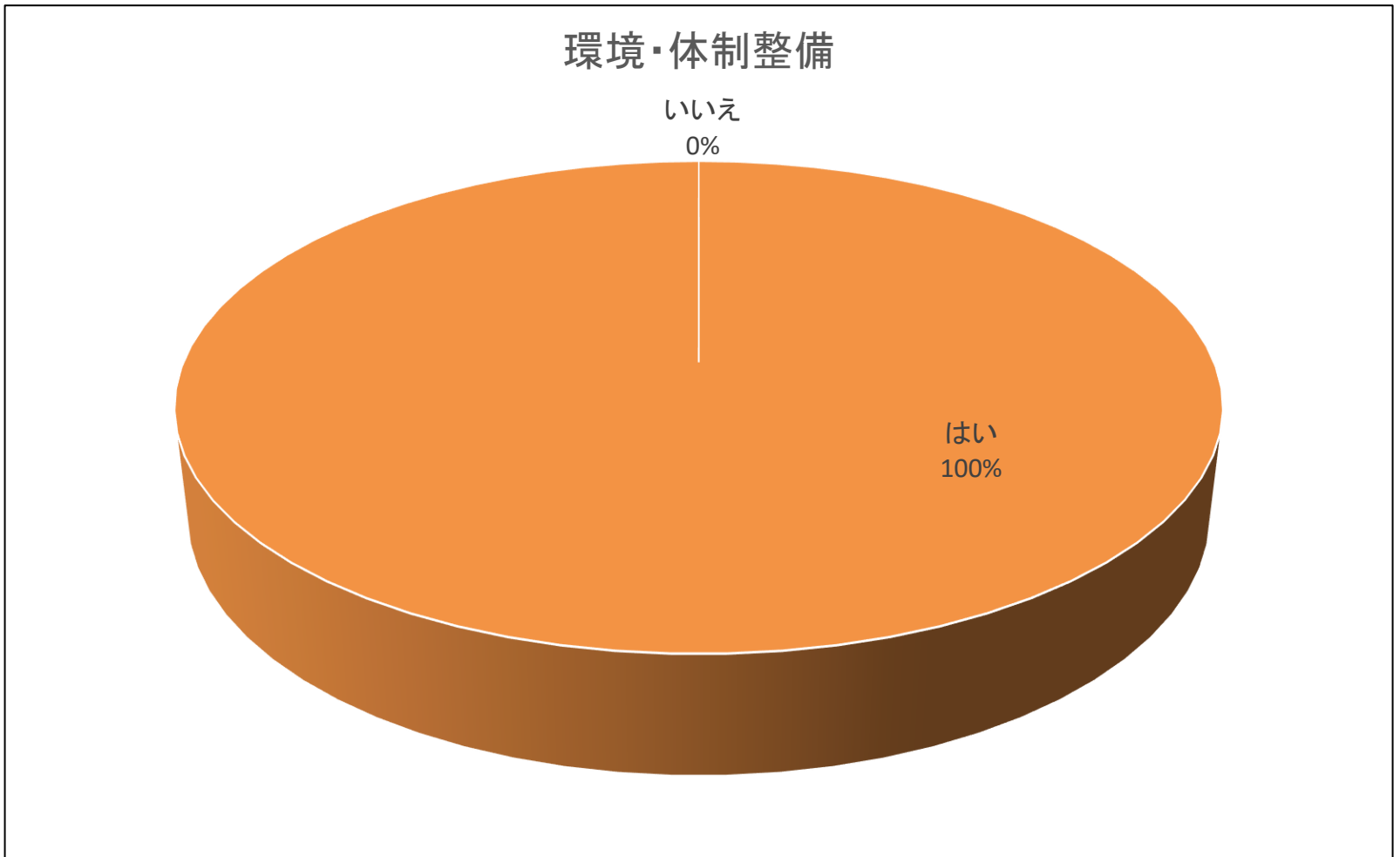


児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 12月 1日

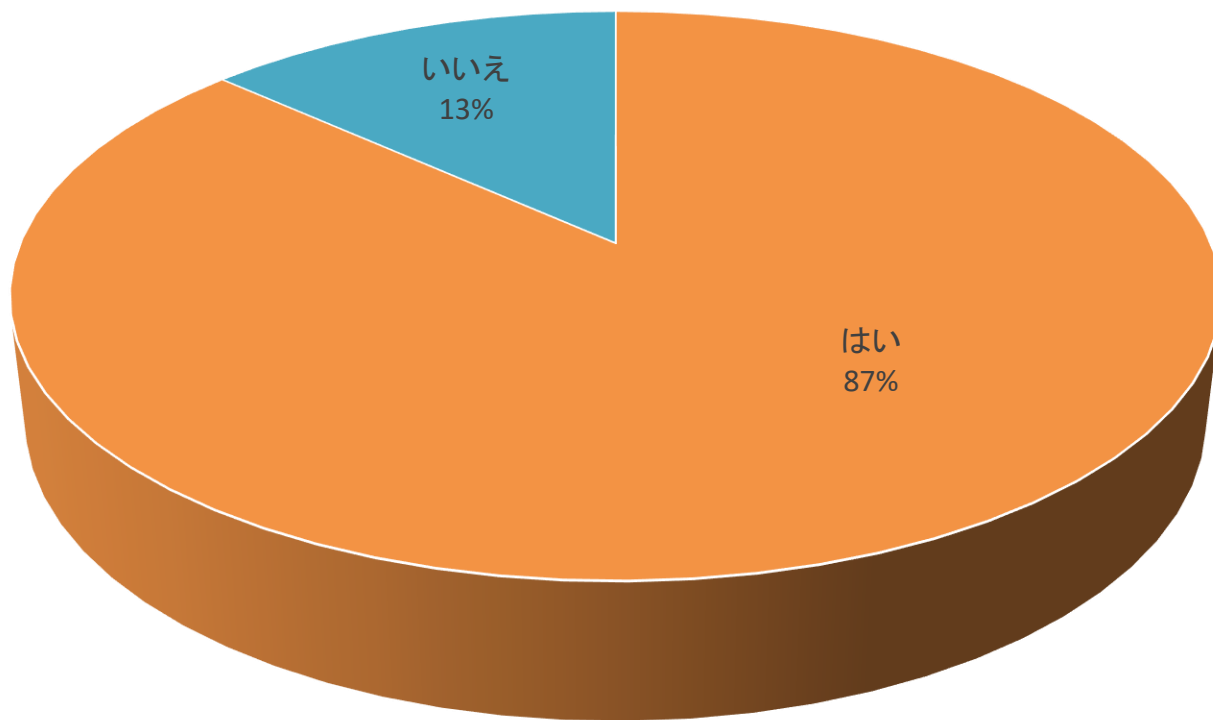
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	* 当日の利用人数に合わせ、交流スペースや別室を利用する等している。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	* 基準以上の人員を配置し、安全の確保を図っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	* 障害特性に応じた環境づくりを心掛けているが、設備等の改善を図った部分についてお便り等に明記し、情報伝達を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	* サービス開始前と終了後、毎回部屋の清掃や玩具の消毒を行うとともに活動に合わせて机やパーテーションで空間を仕切るなど工夫している。
	合計			24	0



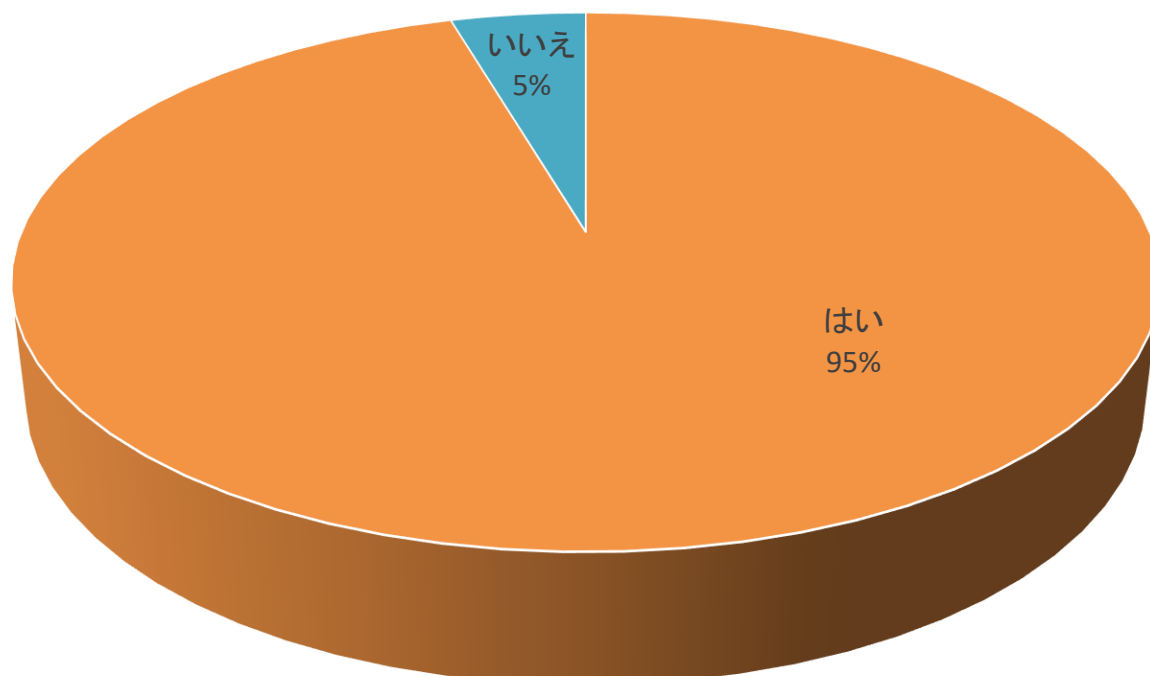
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	* 職員会議の中で、業務改善について話し合った時間を設け、改善に取り組むとともに職員も個人目標の管理シートによって評価している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	* 1年に1回、事業所評価を行い保護者の意向を確認し、意向の把握、業務改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	* ホームページ上で公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	* 第三者による外部評価は行っていない。今後は、行うかどうか検討していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	* 月に1回の内部研修と外部研修の計画を作成し、職員みんなが参加できるよう計画している。
		合計	26	4	

業務改善



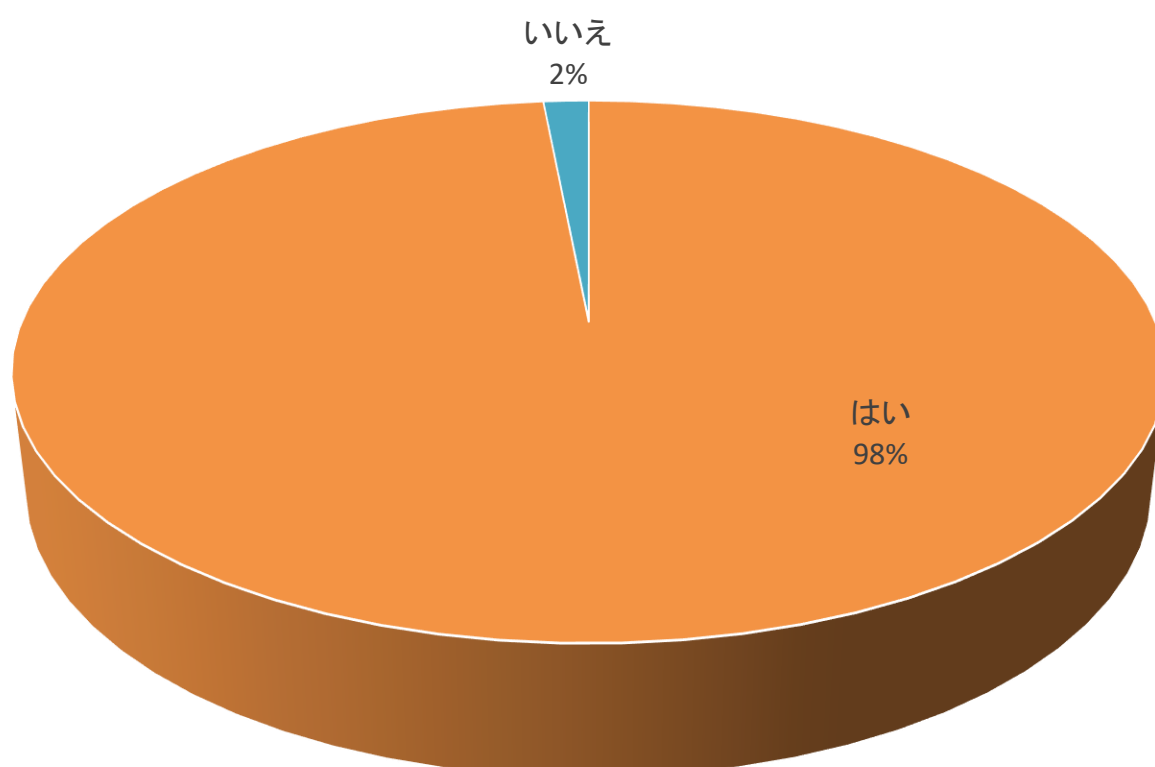
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	10	6	0	* 利用開始前にアセスメントを行っている。また、成長とともに状況等が変わった場合は、適宜アセスメント表に追加しつつ、支援計画にも反映させている。
	11	6	0	* 標準化されたアセスメントツールを施設独自のものとし改良し、アセスメントを行っている。
	12	5	1	* 「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」について意識しながら、計画の立案を行っている。
	13	6	0	* 支援振り返りシートやモニタリング時に評価している。合わせて日々のミーティング等で適宜状況の確認や共有を行いながら支援している。
	14	4	2	* 前月に予定を立案し、計画的に実施しているが、活動プログラムをその都度関係機関や保護者にも確認し、慎重に検討していく。
	15	6	0	* 成長に応じ、評価しながらプログラムについて見直しを行っている。
	16	6	0	* 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している。
	17	6	0	* 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。
	18	6	0	* 終了時に、支援その他について当日の気づき等の振り返りを行い、情報の共有や支援の統一化を図るよう心がけている。
	19	6	0	* 客観的に、誰が見ても分かるような記録を徹底している。また、記録をもとに一人一人に対する支援会議を行い、支援の改善につなげている。
	20	6	0	* 毎月定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。
	合計	57	3	

適切な支援の提供



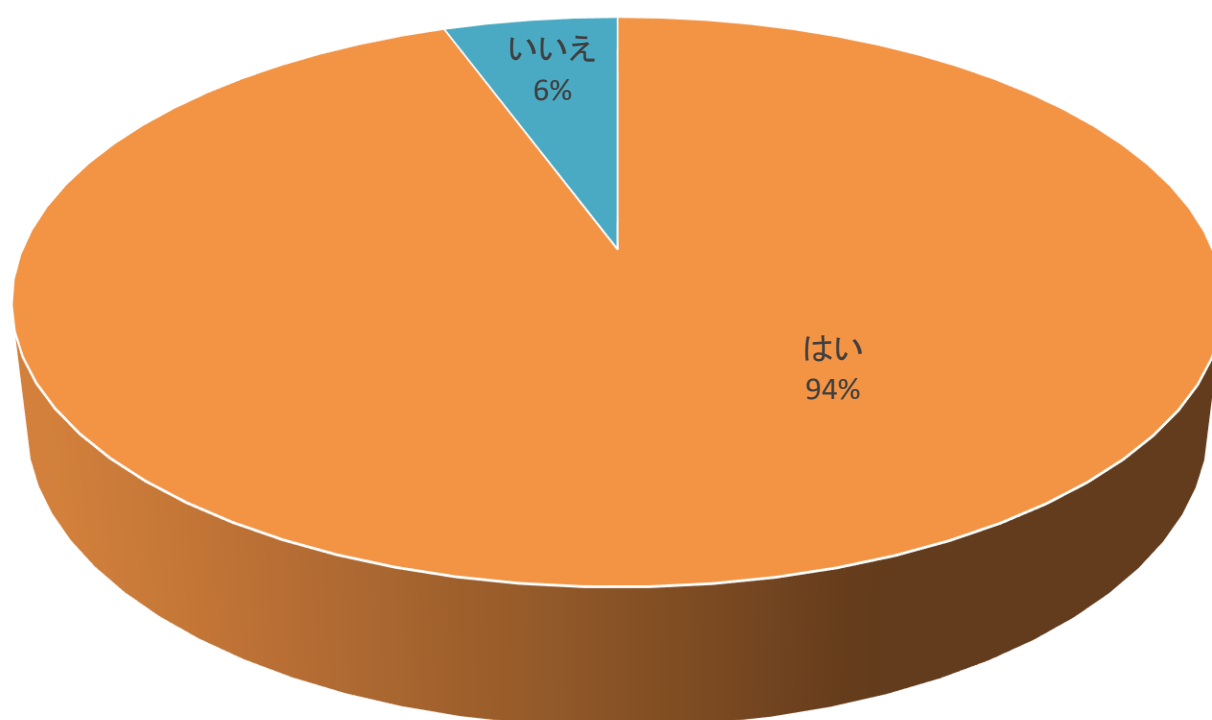
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	* 児童発達管理責任者と、利用児の担当職員2名で担当者会議に参加している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	* 利用開始時に担当の保健師との情報共有を行っている。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	0	* 相談支援専門員を中心に、医療や行政、保育、教育とチームとなり、必要時は各機関に連絡を取れる体制を整えている。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	0	* 相談支援専門員を中心に、医療や行政とチームとなり、必要時は主治医と連絡を取れる体制を整えている。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	* 移行する際に、移行前の利用施設に訪問し状況の確認を行っている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	* 移行時に訪問や会議を行い、情報の共有を図っている。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	* 医療的ケア児については、県の医療的ケア児支援センターから助言を受けることがあった。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1	* 少人数で市が開催する障害のない子どもたちと活動するうさちゃん広場等に参加している。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	* 施設の管理者が参加している。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	* 送迎時に、保護者に状況を報告したり、相談を受けたりするとともに連絡帳なども利用し、共通理解に努めている。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	0	* ペアレント・トレーニングは行っていないが、職員全員が技術と知識を習得できるよう研修を順次受けている。
合計	65	1		

関係機関や保護者との連携



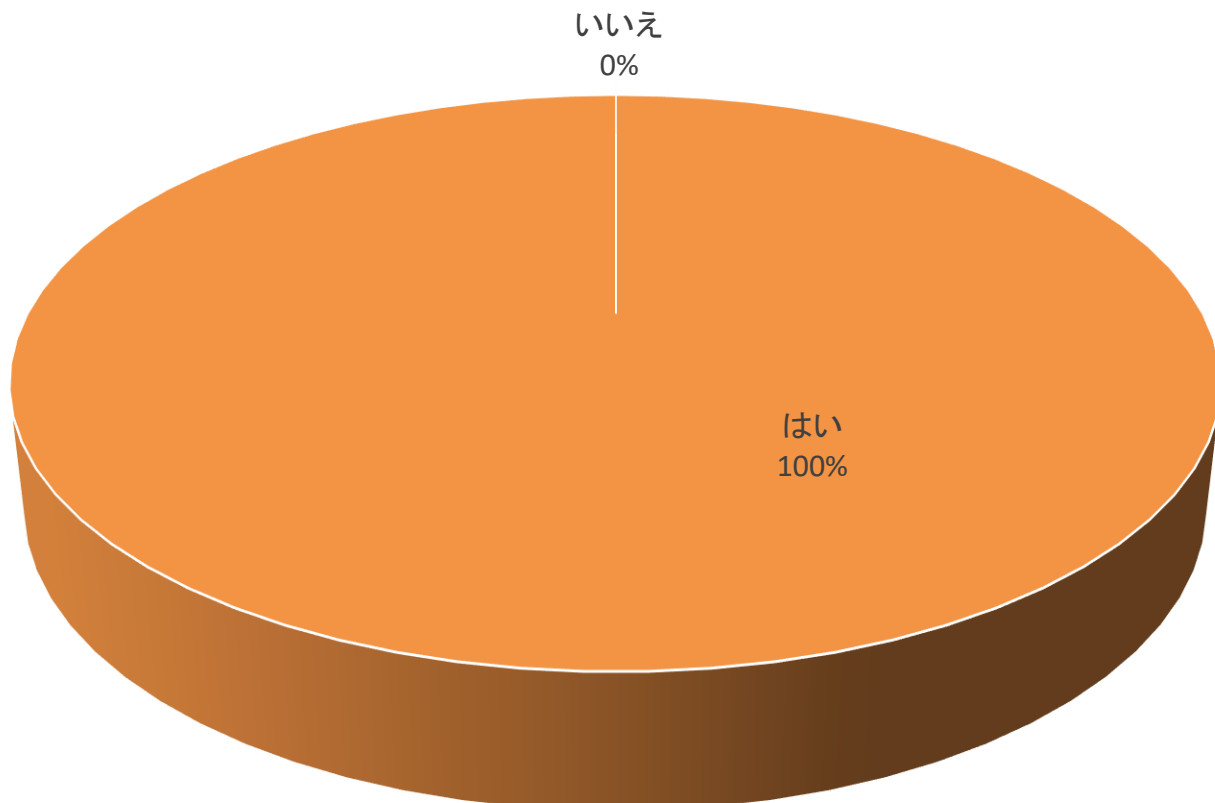
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	* 契約時に口頭と書面で説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	* 支援計画作成時の会議開催時に、口頭と書面で説明を行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	* 連絡帳でのやりとりや、送迎時のやりとりの中で相談に応じ、必要時には個別に面談を行い対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	* 感染対策をしっかりとった上で、保護者会を開催している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	* 保護者が相談しやすいように、施設側から問いかけたり保護者会で周知するようにしている。相談があった場合は、速やかに対処している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	* 毎月、行事予定のおたよりを配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	* 職員に周知徹底している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	* 1人1人の特性や理解度について評価し、必要時はツール等を活用する等の配慮を行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	* コロナ禍のため実施できなかったが、時期を見て行事を計画していく。
		合計	51	3	

関係機関や保護者との連携



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	* マニュアルは策定しており適宜見直しを行っている。周知についてはその方法等を改善している。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	* 毎月1回、訓練を行っている。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	* 利用開始時に、既往歴や受診の確認について必ず確認を行っている。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	* 児童発達利用のお子さんでアレルギー対応の子はいないが、アレルギー対応については、弁当持参をお願いしている。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	* リスクマネジメント委員会によって、ヒヤリハットの報告や職員への周知が行われている。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	* 内部研修と外部研修への職員の参加について、年間で計画を出し実施している。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	* 委員会の設置と指針の作成により、定期的に研修を実施して職員に周知徹底している。
合計	42	0		

非常時等の対応



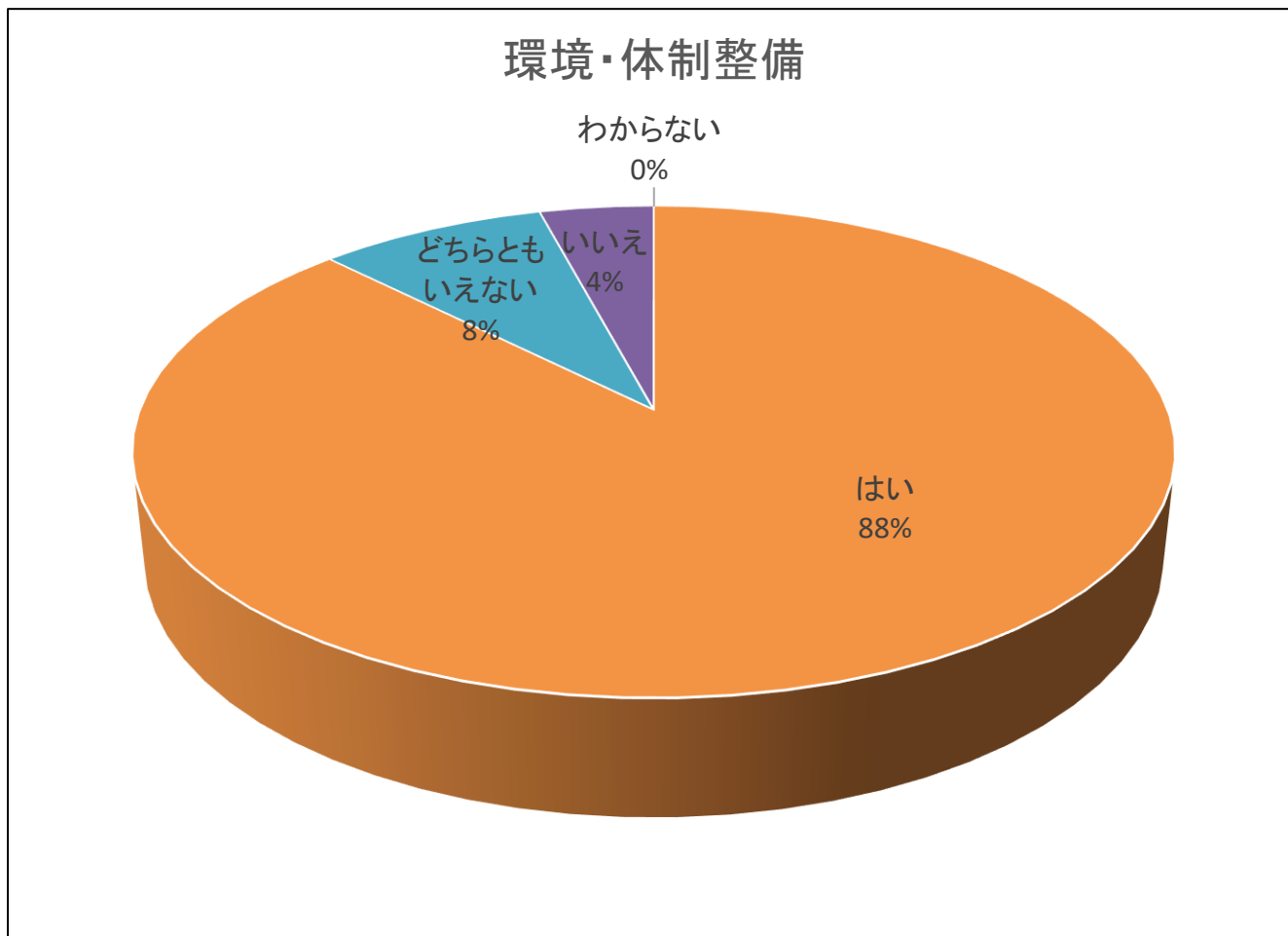
保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 12月 1日

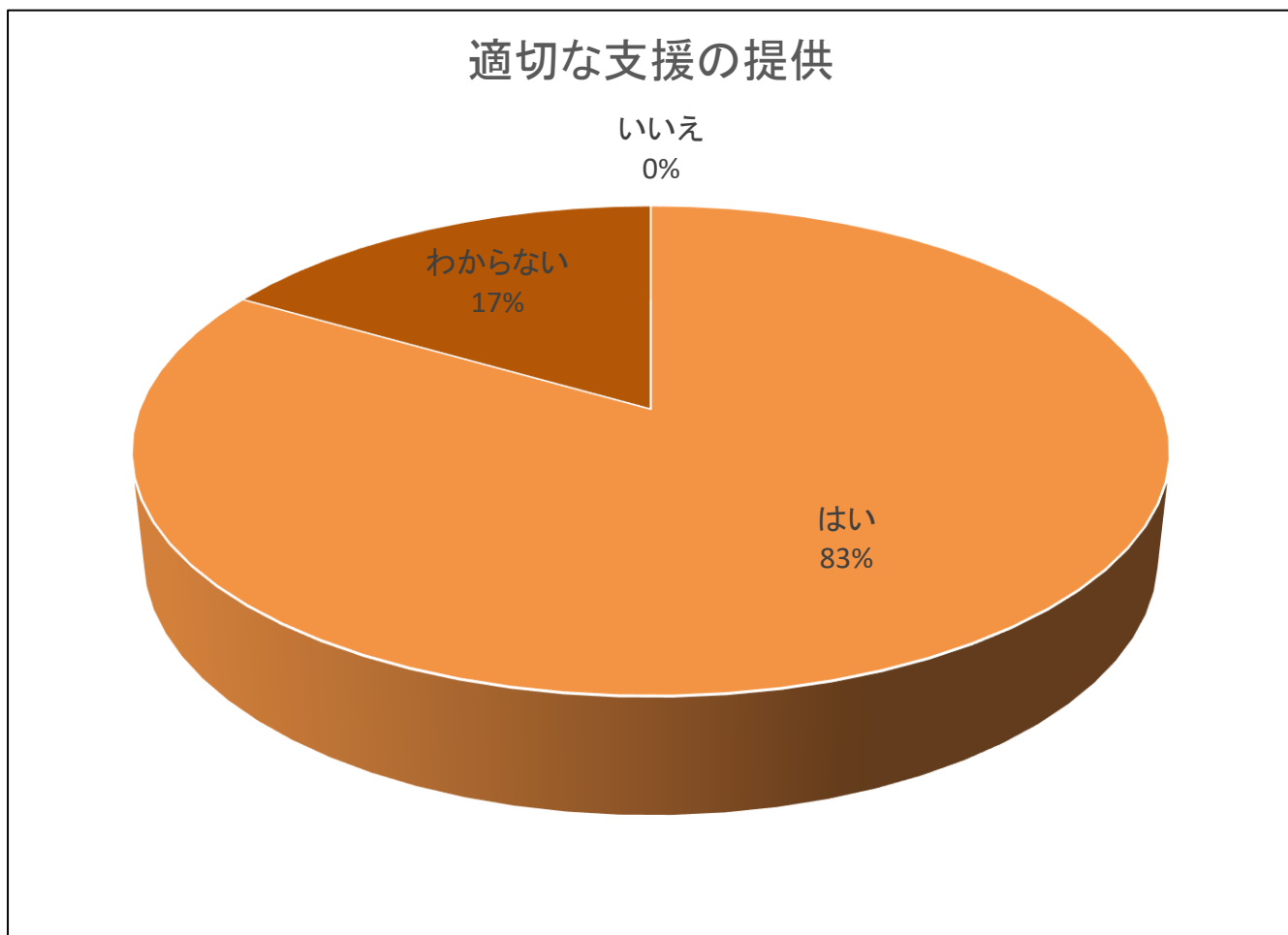
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

保護者等数(児童数) 回収数 6 割合 100 %

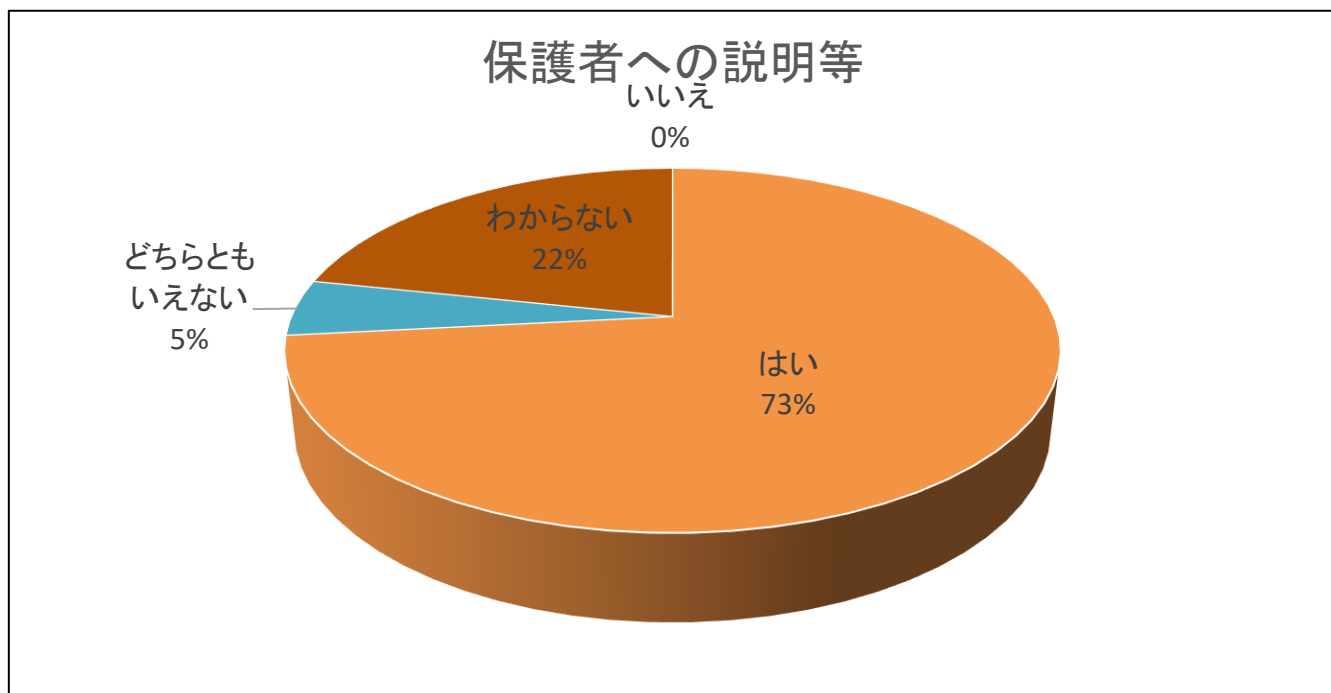
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	1	1	0	* 広いです。	* 長期休暇等、子どもの数が多い場合は同法人の地域交流室等の利用も行いスペースの確保を行っています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0	0	* 放デイの時間になると多くの方が良いと思います。	* 基準上の人員を確保した上で、利用日、利用人数、時間帯によって対応できるようにしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	0	0	* トイレにスリッパなしで入るのが気になっています。	* バリアフリー化となっています。トイレと玄関部分は板張りとなっており、1日の中で定期的に清掃しています。スリッパについて検討させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1	0	0	* 出入りしやすく広いです。	* 毎日清掃・消毒を行っています。
	合計			21	2	1	0	



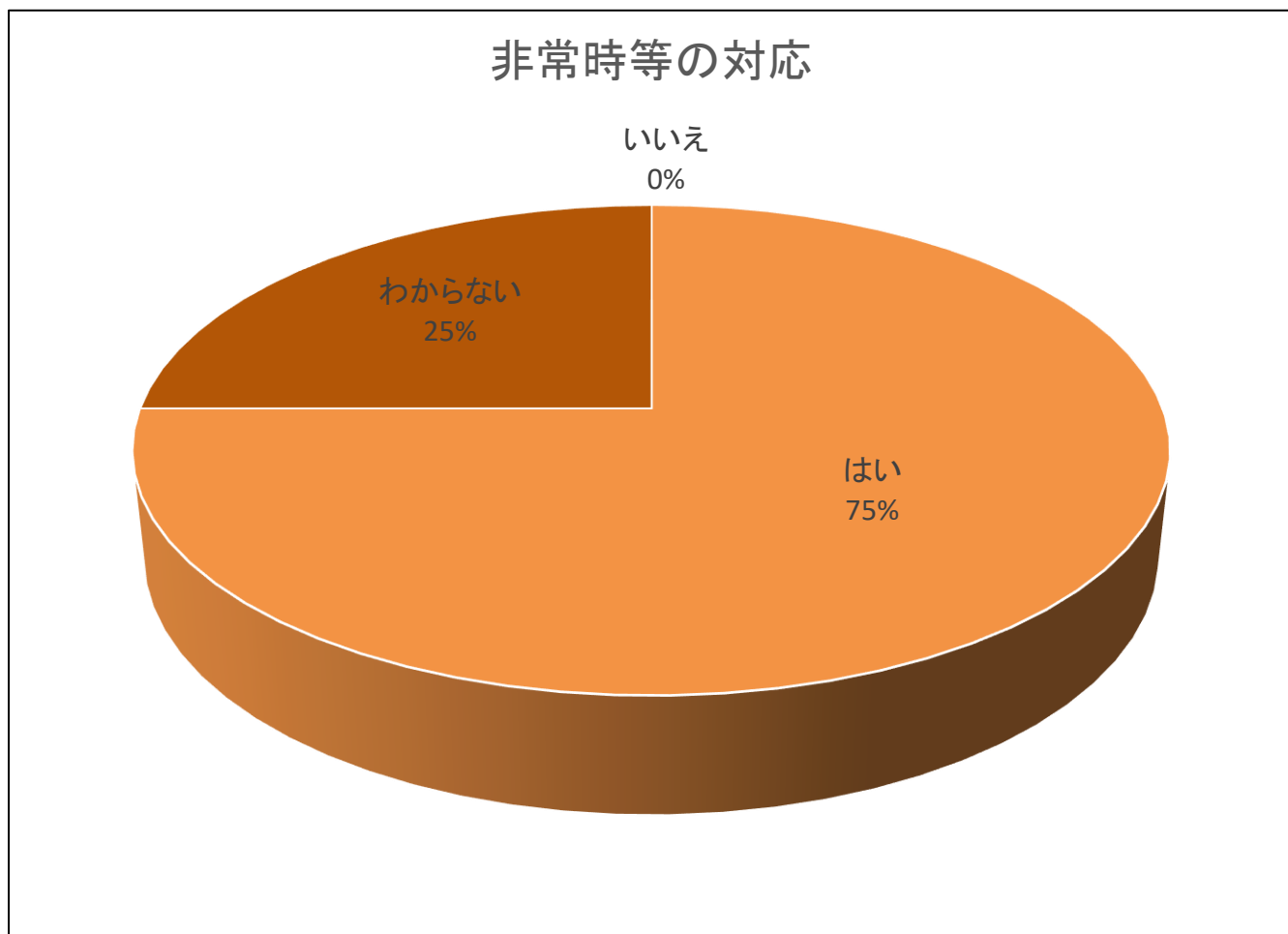
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	6	0	0	0		* アセスメント時や面談時の移行の確認に合わせ、関係管のご意見も取り入れ作成しています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	0		* 児童発達支援ガイドラインに沿った支援を行えるよう今後も適切に支援の項目・内容を選択・設定していきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	0		* 児童発達支援計画に沿い支援しています。
	8	<u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	5	0	0	1	* よく出かけたり、おやつ作りなどに取り組んでいるように思う。	* 毎月、支援の振り返りを行い、適宜、プログラムに変化をつける等しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	0	0	4	* あまりないと思う。	* 少人数で市が開催する障害のない子どもたちと活動するうさちゃん広場に参加しています。
		合計	25	0	0	5		



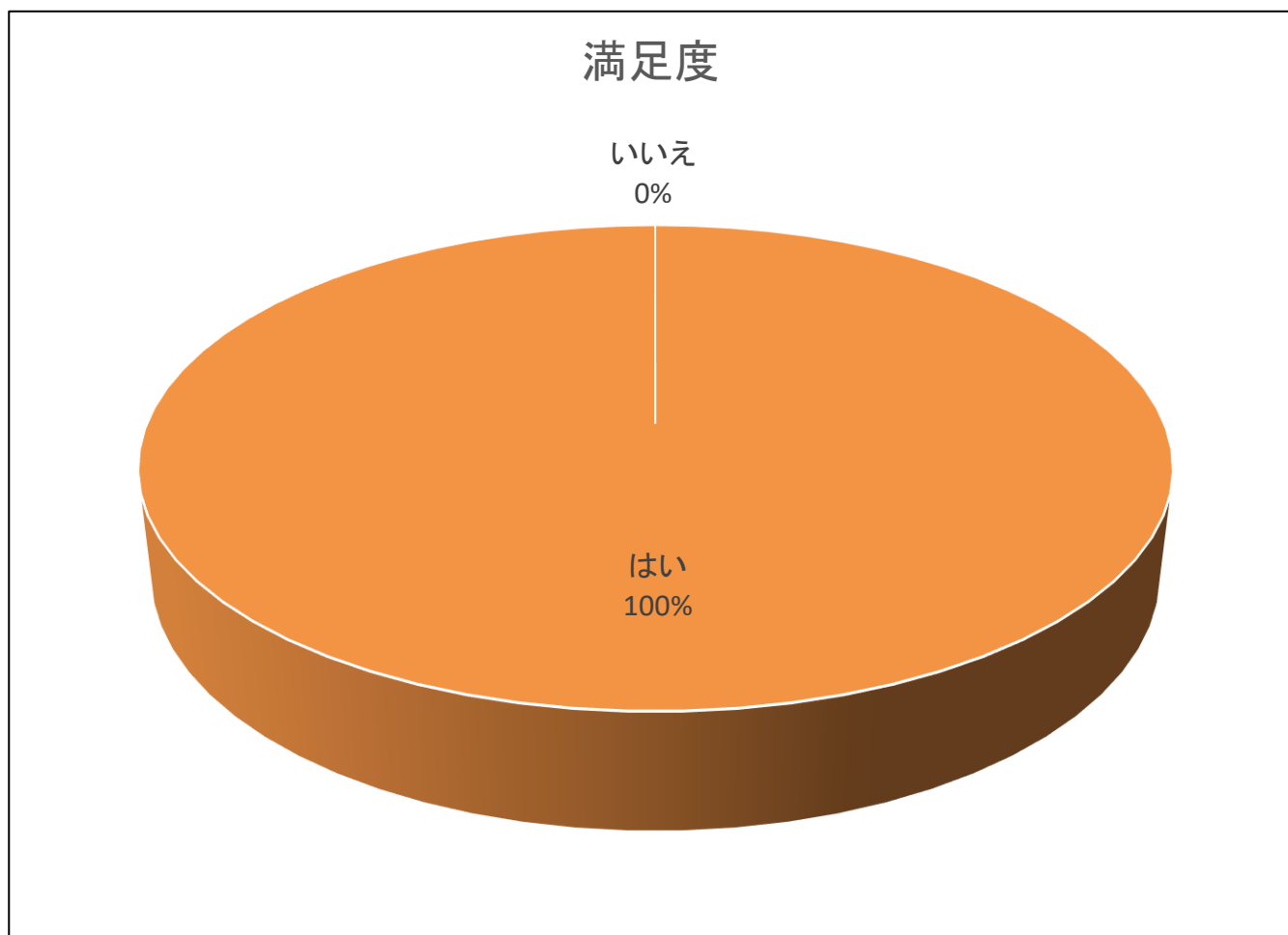
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0	* 易しく説明してもらった。	* わかりやすい説明を心掛けています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	6	0	0	0	* 分かりやすかった。	* 口頭と書面により説明しています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	2	1	0	3	* 参加できていないが誘ってもらっている。	* 職員がペアレントトレーニングの研修を受けています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5	0	0	1	* よく連絡帳にも書いてもらったり送迎時に声をかけてもらっている。	* 送迎時や連絡帳で、その日の様子を分かりやすくお伝えしています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	1	0	2	* 家族が後から気づくこともあり、やり取りして確認している。	* 必要時、相談にのる等しておりますが、今後さらに相談機能の充実を図ります。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	0	0	3	* 連絡をもらっているが参加できていない。	* 感染対策をしっかりとった上で保護者会を開催しています。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	0	0	1	* きちんと確認して返答してくれている。	* 保護者から相談があった際は迅速に対応するように努めています。相談しやすい体制整備について今後さらに考えていきます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	0	* きちんと確認して返答してくれている。	* 連絡帳や送迎時に情報を伝え合い、話す機会を増やすことで、相談しやすいように配慮しています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	1	0	3		* 毎月、行事予定のお便りを配布したり、SNSでも情報発信しています。 * 自己評価の結果をホームページで公表し、お便り等で配布しています。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6	0	0	0	* 気になったことはない。	* 職員に周知徹底しています。
合計		44	3	0	13		



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	0	0	2	* 実施されたと聞いた。	* マニュアルは作成済です。発生を想定した訓練も定期的を実施しています。保護者に対してはSNSや親の会で周知しています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0	1	* 訓練を行ったと聞いた。	* 毎月1回、訓練を行っております。 * 法人のSNSにも掲載しております。
	合計		9	0	0	3		



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	0	* 笑顔で通えている。	* 安全に楽しく通所して頂けるよう環境を整えています。1人1人に合わせた支援や環境整備にも力を入れています。
	23	事業所の支援に満足しているか	6	0	0	0	* ありがとうございます。	* ご意見やご要望にできる限り添いながら、楽しく通所できるようにしていきます。
	合計		12	0	0	0		



- *1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。
- *2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
- *3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。
- *4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。